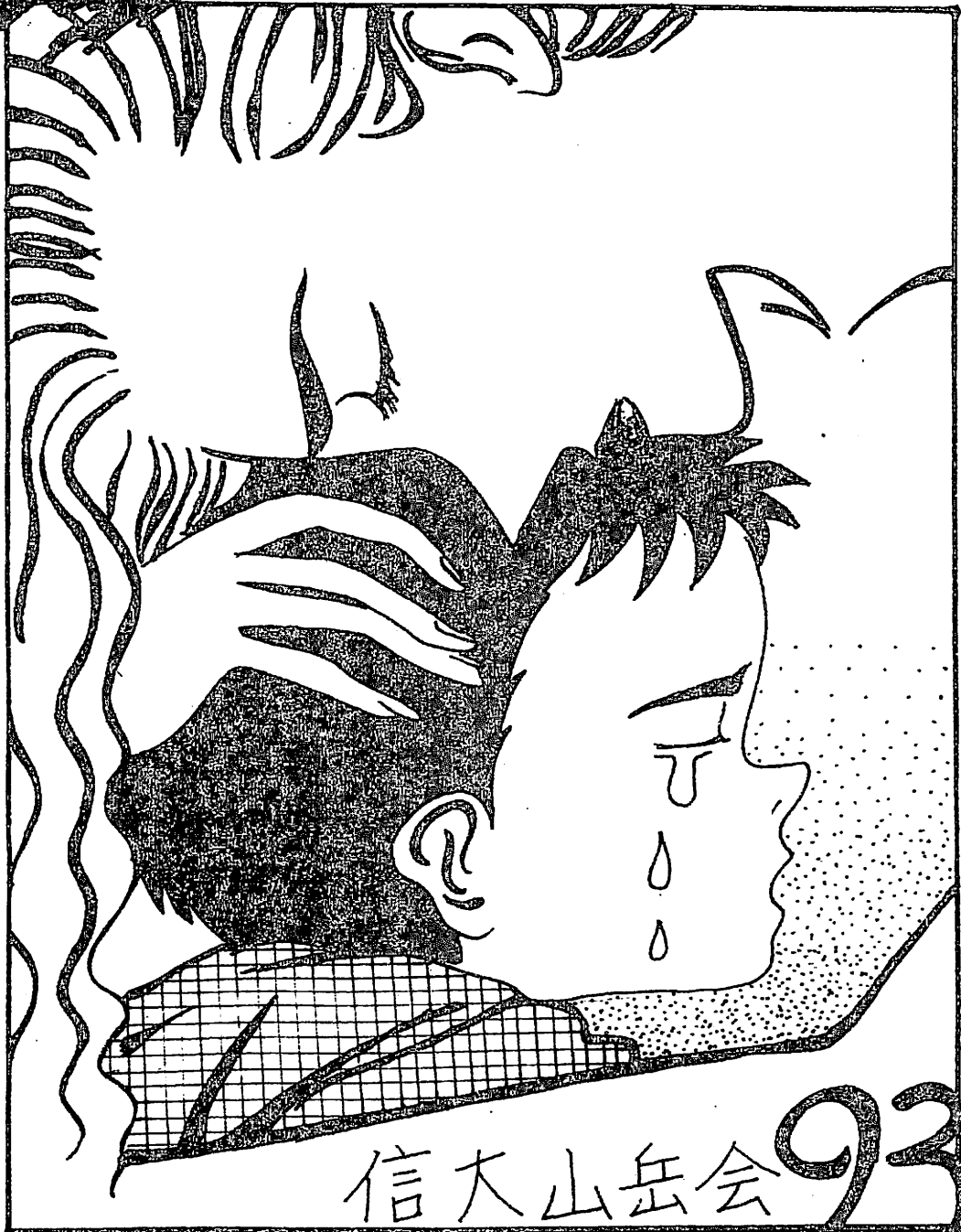


秋の個人山行

報告書

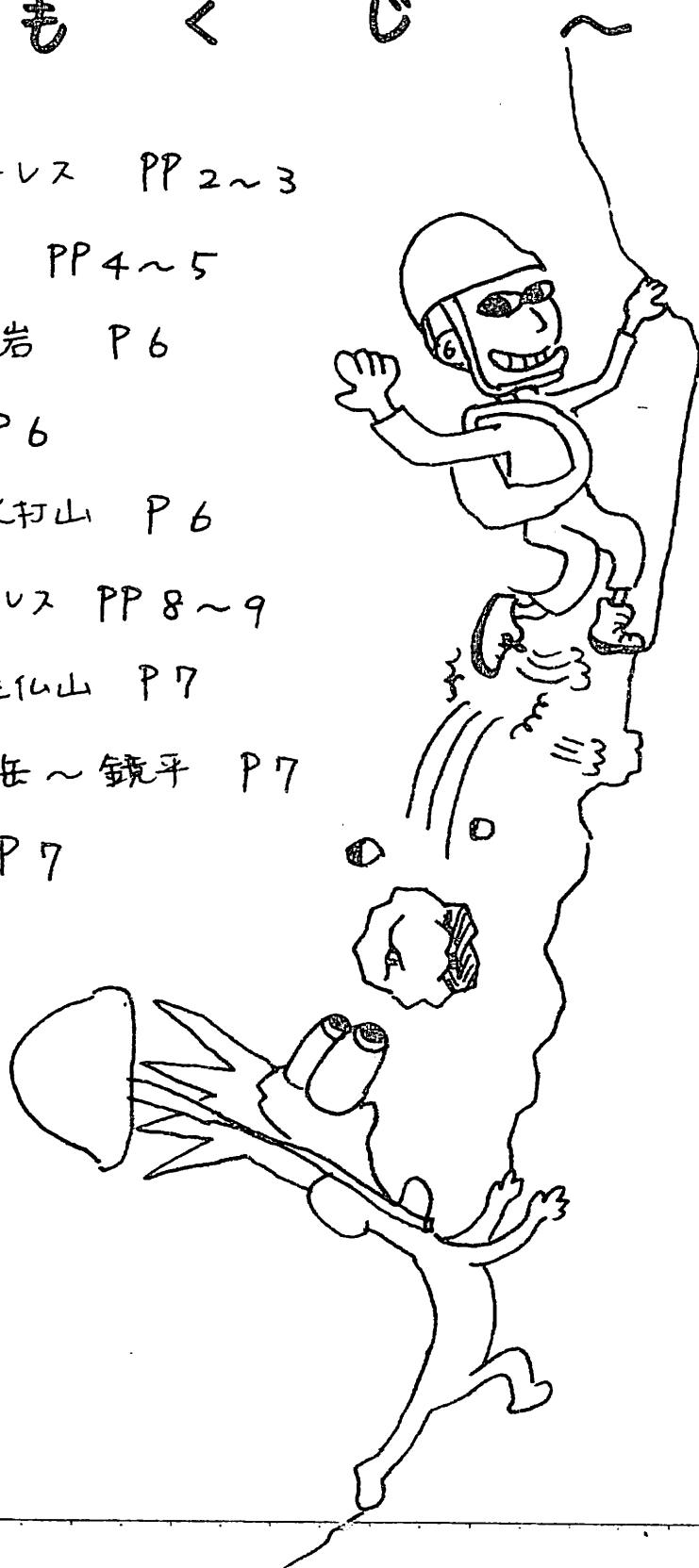


信大山岳会

93

～ も く じ ～

- 北岳 バットレス PP 2～3
- 錫杖岳 PP 4～5
- 唐沢岳 幕岩 P 6
- 八ヶ岳 P 6
- 妙高山、火打山 P 6
- 北岳 バットレス PP 8～9
- 武尊山、至仏山 P 7
- 北ア・笠ヶ岳～鏡平 P 7
- 雨飾山 P 7
- 作文



北岳バットレス PART I

ルート：ピラミッドフェース～第4尾根主稜

1993. 9. 15～16 L. 長谷川哲也(3) 伊藤勇太郎(1) 山内哲文(1)

行動記録

9/15(水)

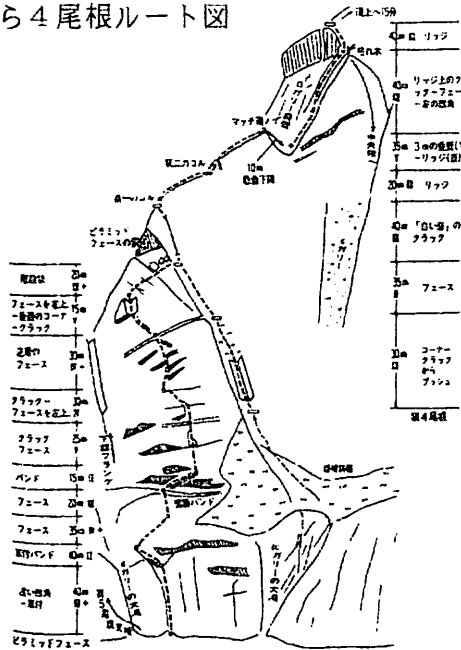
松本発 5:50 ⇒ 広河原 8:40到着 9:30発
 白根御池BC着11:30
 この後昼寝をする。異常に豪華な夕御飯を食べる。

9/16(木)

起床4:00 BC発4:45 晴れ ⇒ 取り付き6:15 ⇒
 取り付きにて少し迷う。先行パーティーなし
 開始 7:10 快晴 (ピラミッドフェース～第4尾根)
 1P 40M III 凹角～草付き
 2P 30M II 左ヘトラバースするバンド
 3P 30M IV 右上気味のフェース
 4P 40M III 横断バンドまで
 5P 10M II 右上するバンド
 6P 35M V IV級程のフェース～V級のクラック
 このクラックは傾斜が急で易しいがやや恐い
 7P 30M IV- フェースを左上
 8P 30M IV- フェース
 8P目終了点のテラスで休憩 快晴 眺め抜群 10:30～45
 9P 25M V 細かいホールドしかないフェースを左上し、ほ
 ぼ垂直のクラックを登る。出口付近が最も恐い
 が、欲しい所ほどピンがない。
 10P 30M IV 凹角から階段状を右上
 11P 20M III- ここで第4尾根上に出る
 12P 35M III- 「白い岩」のクラック 易しい
 13P 20M III リッジ
 14P 30M IV このピッチ出だしのフェースはV級とあるが嘘
 フェースの後リッジ
 15P マッチ箱のゴル跡へ懸垂10M
 16P 35M III- リッジ
 17P 40M III- 凹角からリッジへ
 終了 15:10 35分まで休憩
 北岳山頂15:45 晴れ ⇒ 肩の小屋 16:20～50 ⇒
 白根御池BC 17:45～18:05 快晴 ⇒ 広河原19:30
 松本BOX22:30

北岳バットレスはC. J. 42号に特集されていますが、後に行く部員の方のために自分なりの感想を細かく記しました。全体的な感じとしては、ピラミッドフェースは写真で見るよりも傾斜が急で、4尾根は快適なリッジと言った感じでした。ピッチグレイドなど良かったら参考にしてください。

ピラミッドフェースから4尾根ルート図



今回は当初博多誠君を含めた4名で行く予定でしたが、山行直前に起こしてしまった交通事故処理のため、彼が不参加となり、とても残念でした。

9月に入ってから天候がぐずつき気味で、登攀時の天候を危惧していましたが、当日は久しぶりの晴天に恵まれ、快適指数120%の登攀を楽しむことができました。ピラミッドフェース～4尾根をつなぐと、全ピッチ数17ピッチにも及び、3人で登る事を考えると時間切れが心配ですが、二人の一年生のザイル操作の手際はまあまあよく、心配するに及びませんでした。ただ、更にスピードアップは可能なので、自分を含め、修行が必要である事を感じました。

僕が北岳バットレスにやってきたのは2度目ですが、前回の、僕が一年生の時は、天候が悪く、結局登れずじまいでした。そういったこともあり、今回の完登には、とても感激しています。北岳バットレスはアプローチが近く、しかもすっきりしたフリークライミングが中心で、草付きも少ないので、出かけてみる価値はあると思います。車を使えば、松本からかなり近く感じられます。

今回、念のためにキャメロットとフレンズをもって行きました。4尾根では必要ありませんが、ピラミッドフェースでは有効な箇所もあったので、幾つか持っていくと良いかもしれません。(なくてもかまわない)

今回入山日の朝、勇太郎がパチッてきた、俗に言う「イレブンめし」をみんなで食べました。次の日、山内があたってしまったので、入山前に「イレブンめし」を食べるのは、止めた方が良くと思います。気をつけましょう。

錫杖岳 前衛フェース登攀

登攀ルート：左方カンテ メンバー：L 長谷川哲也(3年) 伊藤勇太郎(1年)

行動日記録

9/27(月) 晴れ時々曇り

松本 12:05 ⇒ 槍見温泉 14:00 車を置く
 槍見温泉 14:40発 ⇒ 錫杖沢出合 15:45~16:00
 錫杖岩舎BC 16:15

9/28(火)

起床 5:30(寝坊する) ⇒ BC発 6:05 ⇒取付 6:25

開始7:00 晴れ

- | | | | |
|----|-----|------|--|
| 1P | 40M | III | CJの記述によると北沢から1つ目のガリーを登るようだが、まちがえて2つ目のガリーを登る。 |
| 2P | 15M | III+ | 1P目と同様凹状 勇太郎がリード(本チャン初)ここで体系どうりのルートに合流 ピナクルの直下に出る。 |
| 3P | 45M | V | ピナクルを左から巻き右上する。立岩の逆Vイ程の小ハングを越し(A1と体系にはあるが、ピンが少ない。フリーの方がBETTER)ボルトラダーからスラブルンゼ状を右上。更に、体系の広い凹状のピッチもつないでしまう。 |
| 4P | 45M | IV | チムニーから左側のフェースを直上 このフェースはピンが多い。記述にはV級とあるがもっと易しい。 |
| 5P | 15M | III | 凹角からカンテ テラスに出る |
| 6P | 45M | V+ | ここは体系の記述にV+とあり、ビビッていた。幅のかなり広いクラック(ここが核心) 1ポイントの核心を越えてクラック(ピンが少ない) そこから左側のリッジへ出る。最後のテラスへの出口がおそぎゃあ。でも6P目が一番かっこよくて楽しい |
| 7P | 40M | IV+ | フェースから右上の小テラスに出て、右上して終了 |

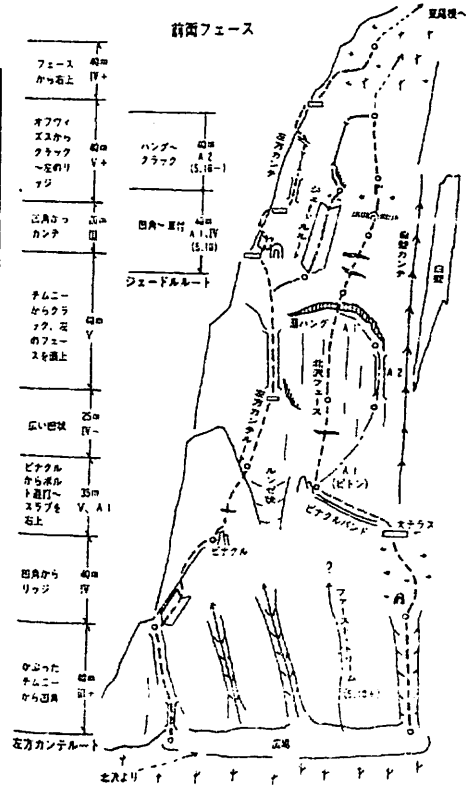
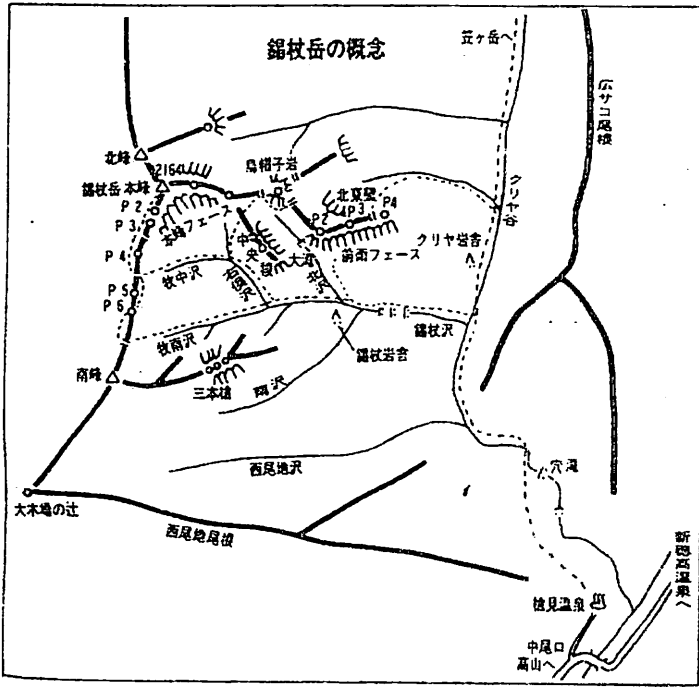
後に行く人のために細かく記しました。グレードはCJと比してみてください。僕たちは初めのピナクルに出るところを間違えましたが、その後は体系やCJの記述どおり明瞭です。左方カンテは岩小屋にあった記録ノートを見ても、一番よく登られているようです。フリクションもよく効きます。

終了: 10:50 快晴 終了点にて休憩 11:15まで 快晴
 ここからP2に登り、烏帽子岩の南側をトラヴァースして中央稜を横切って右俣沢を下降し、錫杖岩舎に至る。烏帽子岩を南に巻く道はかなり悪い

93/10/08, 11:17,

ので要注意。右俣沢の下降は3P懸垂を要した。源次郎尾根P1平蔵谷側中央ルンゼによく似た感じであった。

ルート図と錫杖岳概念図



BC帰着 14:20

沢で冷やしたビールを飲んで、長谷川は翌日のテスト、勇太郎はたった夏休みのレポートのため下山。

BC発 15:55 ⇒ 槍見温泉 16:50着 17:00発
松本BOX到着 18:50

錫杖には最近SACで登った人がいないため、直接の情報が得られずとても不安だった。登ってみて、すごくいい所だと思った。先ず、アプローチの道がすごく良く、おまけに近い。(松本からも) 岩舎があり、そこに幕営すれば水もあり、ベースもとっても快適で、手ごろなルートも多い。今回登った左方カンテはピンもまあまあ多く、すっきりしていて楽しかった。お進めである。前衛フェースから鳥帽子岩に継続したら、ピッチ数も多くなり、充実すると思う。

取り付きがわかりにくいので、知っている人を見つけて聞いておいた方がいい。爽やかな秋晴れのなかでの快適なフリーは、NICEでした。

93/10/08, 11:17,

5

● 唐沢岳 幕岩 大回角ルート L.高橋, 勇太郎

9/8 七倉 14:00 ● ~ 高瀬谷 14:45 ● ~ 大田の宿 B.C. 17:20 ①

9/9 B.C.発 5:30 ◎ ~ 6:00 登山開始 ~ 4p (25m 20, 40, 50) ~ 中央バインド
 ~ インテIP ~~2p~~ ~ 2p (25, 20) ~ 10:15 右横の頭 ◎ ~ 10:50 けしき
 開始 ~ 7p ~ 12:40 B.C.着 ~ 13:20 同発 ~ 15:40 高瀬谷 ①

フットロック登山靴を使ったがフリクションがないので恐しかった。岩は
 前日の雨でぬれて、あまり快速ではなかった。(高橋)

● 八ヶ岳 (小淵沢 ~ 赤岳 ~ 白駒池)

9/21 ~ 23 L.原田, 佐々木 ニマニマ車ご入り。

9/21 740 小淵沢駅発 ◎ — 1005 観音平 ◎ ◎
 - 1250 福笠山 ◎ — 1440 権現岳 ◎ — 1540 キレット山

9/22 520 T.S.発 — 640 赤岳 ◎ — 805 横岳 ◎
 - 855 硫黄岳 ⊗ — 1015 根石岳 ⊗
 - 1040 天狗岳 ⊗ — 1130 黒百合 ヒュッテ T.S. ●

9/23 700 T.S.発 ● ⊕ — 810 ニュウ ◎
 - 1030 白駒池入口 ●

硫黄岳頂上付近で雪が降っていてびっくりしたが、つもってはいなかった。天気が悪くて、ついとらんかったけど、自分らで
 計画した山行は充実していて楽しかった。帰りに清里に
 寄り、伊藤ト(利)君のバイト先で一泊 ビバークした。

(原chan)

妙高山・火打山 10月3日~4日 松本

<行動>

笹ヶ峰 5:45 ① ~ 妙高山 9:20 ① ◎ ~ 高谷池 12:00 ◎ (山)

TS 6:25 ◎ ~ 火打山 7:20 ◎ ~ 笹ヶ峰 10:00 ①

<感想>

紅葉がきれいだった。ハイキング感覚で登れる山です。

● 武尊山・至仏山 10月16 - 17日

メンバー 松本、博多、伊藤、藤野、山内

<行動>

10/16 群馬県自然の森 7:55① ~ 武尊山 11:00① ~ 自然の森 14:15②

10/17 九嶋峠 7:45① ~ 至仏山 9:30① ~ 九嶋峠 12:00②

<感想>

山頂から展望がなく残念だった。誰でも登れる山です

● 北ア・笠ヶ岳縦走 10月22 ~ 23日

<計画>

・L 松本、伊藤、笠新道 ~ 双六 ~ 黒部五郎 (4T1)

・L 博多、山内、原田 笠新道 ~ 双六 ~ 権ヶ岳 (3T1)

<行動> 2パーティー1台1台、全2共に行動。

10/22 新穂高温泉 7:15① ~ 後線分岐TS 13:00①
10:35① → 笠ヶ岳 14:55②

10/23 TS 6:53① ~ 弓折岳・坂戸岳 ~ 鏡子 10:20② ~ 新穂高温泉 13:00②

<感想>

天気急変が予想されためエスケープ下山。

笠ヶ岳からの穂高連峰はすんばうしかった。

この時期の北アは雪が降ることを考えた装備が必要だと思います。

笠 ~ 双六は夏山なら、楽しい散歩道。権 ~ 穂のジギバン展望つき。
またいつか。

● 雨飾山 11月3日 松本

<行動>

小谷温泉上 7:40① ~ 雨飾山 10:35① ~ もとのとこ 12:20①

<感想>

白い白馬岳はかっこよかった。ほるかに富士山もあつた。

まだ人がいっぱいいいマブツクリ。雪は全然ありませんでした。

北岳バットレス PART II

メンバー：L 長谷川哲也（3年） 高橋敦（3年） 博多誠（2年）
伊藤利信（1年） 伊藤勇太郎（1年） 上山祐貴子（1年）
佐々木耕平（1年） 原田祐介（1年） 藤野稔（1年）

ルート：10日 下部岩壁 十字クラック1P目 ピラミッドフェース1P目
11日 第4尾根（高橋、上山、藤野）
ピラミッドフェース～第4尾根（博多、U太郎）
下部フランケ～上部フランケ（長谷川、利信、原田）
12日 ピラミッドフェース～第4尾根～Dガリー奥壁継続
（長谷川、原田）

行動記録

10/10（日） 長谷川、原田、伊藤利信
松本発 6:10 ⇒ 広河原 9:15着 10:15発 晴れ
白根御池BC 12:25着 昼飯を食べてから下部岩壁へ

10/11（月） 長谷川、原田
下部フランケに取り付くためDガリー大滝に取り付く
起床3:50 ⇒ BC発4:40 ⇒取り付き6:00 快晴
開始6:30
1P 50M IV+
先ず長谷川がリードする。ところが、FOLLOWの伊藤利信が出だしの
フェースで墜落。とりあえずそのまま登らせる。1P目終了点にて
様子を聞くと、背中をヒットし、痛みを伴っていることから、大事
を考え1P目終了点から懸垂。
取り付き8:50～9:50 快晴 ⇒ 白根御池BC帰着12:00

10/12（火）
ピラミッドフェース～第4尾根～Dガリー奥壁継続（長谷川、原田）
起床3:30 ⇒ BC発4:20 快晴 ⇒ 取付 5:30 快晴
天気が崩れるという予報により、天気を気にしながら登る
開始 6:05 快晴
Dガリー奥壁取り付き12:50 開始13:00
1P 30M V 3段のハングはピンがぼろい
2P 35M V クラックのあとのスラブが恐い
3P 35M III+ 浅い凹角 原田リード
4P 40M III
終了 14:40 快晴 ⇒ 北岳山頂 15:20～50 快晴
白根御池BC 17:05～40 撤収後下山 ⇒ 広河原 19:00

北岳バットレス 第四尾根主稜パーティ L.高橋, 上山. 藤野

4:40 B.C.発 ○ ~6:00 下部岩壁取付 ~ 3p (Cが) - 大滝入

9:30 四尾根主稜取付 ~ 6p, けんち1p, 3p ~ 13:00 終了 ~ 13:30 北岳頂上
~ 15:10 B.C.着 ~ 17:00 広河原 ○

○ 四尾根主稜取付はわかりにくい。
10mほど登ると、奥の方にバン
にもっていくとピシク点が見つかり、
3につく。大系の記述とはかなりち
がった。このジールドルはここ以外にない。



やさしいジールドルを
ドが延びていて、それ
どうやら四尾根らしいとこ
ろが、出だしの、はまり

○ 蒸滞して、先行パーティを追うだけになったのは残念だ。
○ バットレスはあまりフリクションが効かないので、あまり好きではない。(高橋)

北岳バットレス、ピラミッドフェース ~ 第四尾根 L.博多, 伊藤(角)

10/11 440 B.C.発 ○ - 600 ピラミッドフェース取付 6300

~ 9p ~ 1130 ピラミッドフェース終了点 11400

(お4おねに出る)

~ 3p, けんち1p ~ 1510 お4尾根終了点 ○

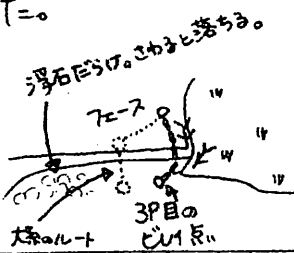
- 1530 北岳 ○ - 1705 白根御池 B.C.着 ○

10/12 800 B.C.発 ○ - 900 広河原着 ○

高校の頃から憧れだったバットレスは天気もよく、最高に
楽しかった。しかしフリクションはいまいち、けんちモロいとこ
もあり、なにより連休で人が多すぎ、前のパーティの後ろを
ついていくだけだったのがつまらなかった。でもなにより、何度も
見るだけだったバットレスに登れてうれし。

下山、及び下山報告が遅れ、多くの人に迷惑をかけて
しまって、すみませんでした。

★ 横断バンドはがして
大系どりのルートだと
キケン！ 3P目は少し
のぼし、右上のブッシュを
回り込むと楽。(III+)



野口五郎岳

(山岳会に入つてよかったこと)

ぼくは、大学に入つて始めて山をやつた。
 山の知らな、ぼくは新人合宿で登き、
 縦走の魅力になきこまれ沢のえう
 が、さし舌づみを打ち、岩登りの何
 ともいえない、何かに目覚め、今度は冬
 山にいこうとする。しかし、何よりも快感
 なのは、やはり野ぐえである。今まで
 がべに囲まれたトイレに何の不満もなが
 だ、ぼくが、おのの大パノラマの下で用を
 足すあの快感は何とも言えない。
 そのときぼくはこう思つた。
 "山岳会に入つてよかった~~~~"

介



この前ぼくは、トイレが近、河にもかかわ
 ず、トイレトペーパー片手に、こう言つた。
 "ちやうど野ぐえ五郎してまます。"



は、また山の魅力に、一ツ気がつた。

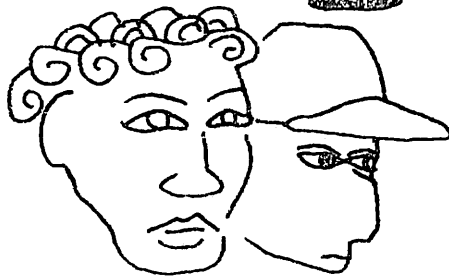


No.

Date

~ S.A.C. ~

...秋山山行
の報告書...



印刷・発行 松本

1993年 11月11日